

大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例 「昭和57年（1982年）7月10日～25日の大雨」

大阪府内で床上、床下浸水 多数発生

【概況】

7月10日から20日にかけてはほぼ毎日西日本の所々で日降水量が100ミリを超える大雨となった。7月23日から25日にかけては低気圧が相次いで西日本を通過し、梅雨前線の活動が活発となった。特に長崎県では23日夜に1時間に100ミリを超える猛烈な雨が続いた。

24日は熊本で日降水量394.5ミリを観測するなど、島原半島や熊本県北部を中心に大雨となり、25日は九州南部や紀伊半島南部で100～300ミリの大雨となった。

大阪府の7月10日から7月25日までの降水量（多い所）：

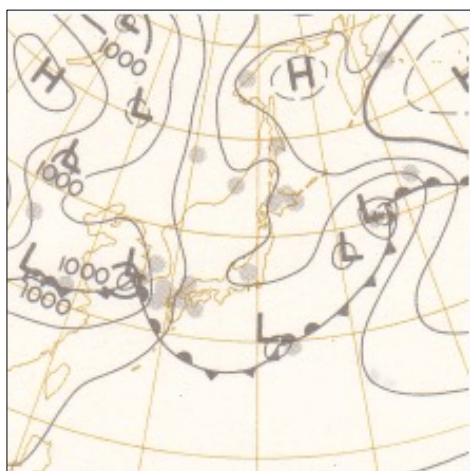
箕面270ミリ 生駒山220ミリ 枚方219ミリ 豊中212ミリ

気象庁は、7月23日から25日の大雨を「昭和57年7月豪雨」と命名した。

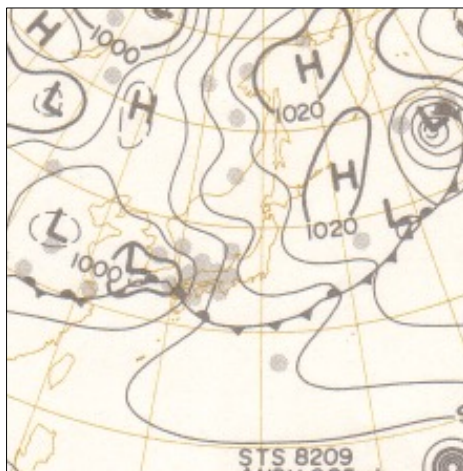
この大雨の影響で、大阪府内では以下の被害が発生した。

人的被害：死者8名 住家被害：家屋半壊99戸、床上浸水10,610戸、床下浸水63,460戸

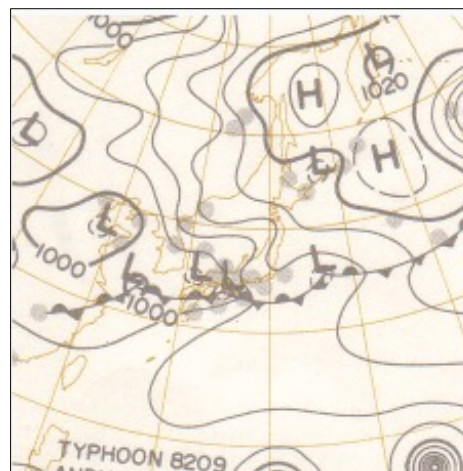
（被害状況：大阪府ホームページ「大阪府を襲った主な災害」より）



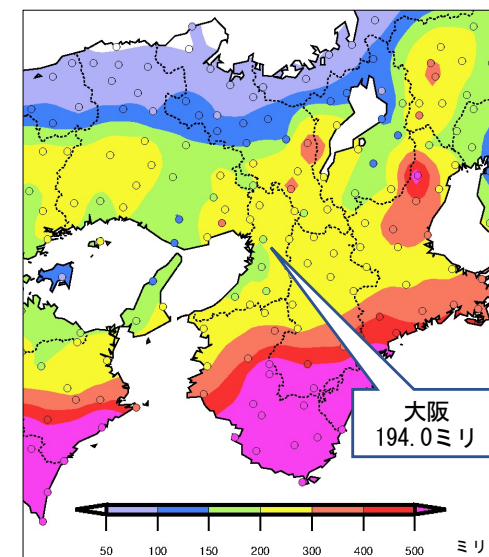
地上天気図 7月23日09時



地上天気図 7月24日09時



地上天気図 7月25日09時



降水量分布（7月10日～25日）